



アジアグループ SDGs 活動報告

2022年12月



アジアグループのSDGsの取り組み

2

1 貧困を
なくそう



最貧困の農村に住む女性たちを支援

～「NPO 法人 SALASUSU」への協賛支援～



カンボジアの農村にある工房で最貧困層の女性たちを雇用し「ものづくりを通じた人づくり」をコンセプトに、ものづくりの現場やトレーニングを通じて女性たちがライフスキルを身につけ、自分らしい人生を切り開いていけるようにサポートする取り組みに賛同し、2008年より協賛支援をしています。

2 飢餓を
ゼロに



恵まれない子どもたちへの支援

～富士見市社会福祉協議会「子ども食堂」への寄付～



当グループは「子どもたちの明るい未来を応援したい」「子どもの貧困対策に活用してほしい」という思いから、2018年に富士見市社会福祉協議会「こども未来応援基金」へ250万円の寄付を行い「子ども食堂」を設立し、感謝状をいただきました。2030年までに子どもの食料対策を埼玉県の地域に拡大していきます。

3 すべての人に
健康と福祉を



地域や社会に貢献

～高齢者向け住宅の建築や地域活性化を図るマラソンへの協賛～



当グループでは2018年にサービス付き高齢者向け住宅を建築し、運営をはじめました。ご高齢者様が安心して暮らしていける施設を提供し、喜びの声をいただいております。継続し、2023年新たに施設建築の予定です。

また、地域住民の健康増進を目指し、小江戸川越ハーフマラソンへのスポンサーに毎年手を挙げております。今後もご高齢者様や地域の方々安心して住み続けられるような環境づくりに努めてまいります。

6 安全な水とトイレ を世界中に



子どもたちに安全な飲み水を提供

～カンボジアの学校近くに井戸を建設～



当グループでは、カンボジアに小学校を2校寄付しております。
寄付した小学校の敷地内に、子どもたちの為の安全な飲み水を確保する為に、井戸を建設いたしました。

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに



再生可能エネルギーでクリーンに

～再生可能エネルギー「太陽光発電」で環境の貢献を目指す～



2013年から太陽光発電を始めて、今では7ヶ所の太陽光発電所を稼働させております。再生可能エネルギーである太陽光発電は、温室効果ガスの排出を抑えることで、地球温暖化対策の長期戦略の一つである「脱炭素化（ゼロエミッション）」にも貢献します。今後も太陽光発電を拡大させて、更なる環境への貢献を目指します。アジアグループでは2030年までに遠隔地からの電力を長期間にわたり供給する「オフサイトPPA」の実施率100%を目指します。2020年は全グループ会社が使用した電気の145%を太陽光発電により得ています。また、車から出る二酸化炭素を減らし環境にやさしい社会を実現する為に、社有車は車検ごとにハイブリッド車に変更しております。

8

働きがいも
経済成長も

雇用創出、文化振興・持続可能な観光業を実施

～事業の拡大と充実したビジネスライフを目指します～

当グループは今後も挑戦し続ける企業として事業を拡大してまいります。現在まで当グループは海外進出や雇用創出の為に国家資格取得学校の運営、広告代理業、自動車業、Web会社の立ち上げなど、不動産の枠にとらわれず世界や新境地を開拓してまいりました。今後も営業所や新規事業を立ち上げることで継続的に雇用を増やし、社員の働きがいやその家族の幸せを守ります。

～地域文化の活性化～

地元地域の活性化に賛同し「小江戸川越花火大会」への協賛や「小江戸川越ハーフマラソン」への協賛・出走のエントリーを行っております。コロナ禍で開催見送りもありましたが、今後も継続して地域発展のために貢献してまいります。



6

9

産業と技術革新の
基盤をつくらう

新入社員研修・役員研修

～グループでの技術基盤向上に向けて～

グループでは新入社員に限らず、役員や役席の研修も

おこない、技術向上の再認識改革を実施しております。組織が初めての新入

新入社員研修



役員研修



社員だけでなく、中堅以上の役員社員にも自分の立場の再認識、部下の指導教育など総合的な技術向上に向けての取り組みを行っています。

10

人や国の不平等
をなくそう

たちがのびのびと教育を受けられる環境を届けました。現地の子どもは学校に行きたくても学ぶところがなく、農村部と



カンボジアに教育の機会を

～カンボジアに学校を設立・教育の機会を支援～

2015年、2020年とカンボジアに小学校を2校建築し、子ども



都市部では貧富や教育の格差が生じております。まだまだ教育の場は少ないかもしれませんが、少しでもカンボジアの子どもたちが教育を受ける機会が増えるように今後も活動を行ってまいります。

11

住み続けられる
まちづくりを

子育てにおける地域コミュニティへの支援

～「NPO 法人川越子育てネットワーク」への広告支援～

子育てにおける地域コミュニティへの広告費を2017年より支援しております。

～住みよいまちづくり～

地域住民の方々との交流を図る活動や社会貢献活動に積極的に参加しています。子どもたちの安全な通学を目指すため拡張舗装工事費用の寄付や環境づくりに今後も努めてまいります。



2010年に木々が生い茂り暗く狭い小学生の通学路を拡張舗装工事するための工事費用1,368万円を寄付しました。現在その場所では、川越に住む地域の子どもたちが安心して通学できるよう整備されており、アジアグループが寄付したことを記録する看板が設置されています。

今後も地域の方々安心して暮らすことのできる環境づくりに努めてまいります。

12 つくる責任
つかう責任



当グループではゴミを増やさない為にペーパーレス化の取り組みを行っております。PDF文書や電子契約書を活用したり、FAXを使用せずに業者間のやり取りを行うことで、ペーパーレス化に貢献するだけでなく、コスト削減や業務効率の向上、セキュリティ強化など様々なメリットが生まれます。

ペーパーレス化

～コスト削減や作業効率向上を目指し～



8

13 気候変動に
具体的な対策を



月～9月ではなく、5月～10月までを毎年実施し、仕事効率の向上も目指しています。

住まいから温室効果ガス排出量を削減する取り組み

～住宅の高断熱化・高効率設備・再生可能エネルギー～
不要なエネルギーを使わないライフスタイルの啓発を進めることで、地球環境の保全と、お客様の快適で豊かな暮らしの実現に貢献します。

クールビズ

～期間を延長し空調の無駄を防ぐ～
地球温暖化対策活動の対応の一環として、過度の空調に頼ることなく夏を過ごすために、毎年クールビズを行っております。通常の6

ASIA COOL BIZ

5月1日より実施

アジアグループでは、地球温暖化防止及び省エネルギー対策の一環といたしまして「COOL BIZ」を実施いたします
実施期間中は
軽装（ノーネクタイ・ノージャケット等）での勤務を奨励しておりますので
皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます

実施期間
2022年5月1日
？
2022年10月末日

～高断熱によるヒートショックや熱中症の低減～

建物の断熱・気密性の高さは、外気温の影響を受けず、建物内の温度を一定に保てることで、住まい手の健康にも良い影響を与えてくれます。

14 海の豊かさを 守ろう



海洋酸性化を減らし海水温度上昇を防ぐ

～太陽光自然エネルギーやエコカーの活用で
二酸化炭素を削減・海洋酸性化を減らす～



当グループが設置している太陽光発電やエコカーの活用により、二酸化炭素を削減し、オゾン層破壊を食い止め、海水酸性化の減少や海水温度の上昇を抑えて海洋の生態系を守る働きかけを行っております。

また、車から出る二酸化炭素を減らし環境にやさしい社会を実現する為に、社有車はハイブリッド車を推奨し使用しています。

15 陸の豊かさも 守ろう



豊かさを守りながら土地の劣化防止

～土地の有効活用で劣化を防止、農地の継続を守る働きかけ～

当グループが所有する農業生産法人で、耕作放棄地を買収し作付けを継続することにより、土地の劣化防止をしております。

農地を継続することにより、乱開発を防ぎ陸の豊かさを守る取り組みをしております。



16 平和と公正を
すべての人に



豊かさを守りながら地域の防犯を目指す

～自社の看板に照明を設置、暗がりを減らし防犯対策へ～



平和と秩序を守る防犯対策として、子どもの安全を守るための「こども110番の家」の登録、夜間の防犯の為に当グループが所有している看板への夜間照明の設置、倒壊や犯罪の温床になる可能性のある空き家の問題にも取り組むなど、地域の平和を守る為の取り組みを行っております。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



SDGs 17の目標を達成するために…

～従業員一人ひとりの意識付けとして～



本社ビルの各階段ステップにはアジアグループの社員一人ひとりに対する一言が記されています。お客様の立場に寄り添った営業を心掛け行い、ご満足いただけるよう自分たちを高めていきます。



～ 20・30年後にはこの取り組みが当たり前な世界へ～

アジアグループに関わってくださったお客様が末永く幸せでいられるよう、全てのスタッフが人・お金・物を育てる努力をしていく。

～関わる人を豊かに～

さらなる世界への進出を目指し、50年後も100年後もグローバルに躍進する企業であり続ける。

アジアグループ本社(株式会社 アジアホールディングス)

〒350-1129

埼玉県川越市大塚1丁目32番地1 アジアビルディング 5F

電話 049-249-4770

FAX 049-249-4771

アジアグループ

日本

株式会社 アイエー
株式会社 アキラ
株式会社 アジアハウジング
株式会社 首都圏緑化サービス
株式会社 アジア住宅販売
株式会社 アイエー住宅販売
ASIA CREATIVE 株式会社
ASIA CARS 株式会社
株式会社 アジア開発
NPO法人 らいせんすアジア
FC 株式会社 マチダエステート
FC 株式会社 アジア不動産
FC ダイワホーム 株式会社

韓国

FC アジア不動産
アジア ライフ

バングラディシュ

アジアジャパンリアルエステート ダッカ Ltd.

ミャンマー

アジアハウジング

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

